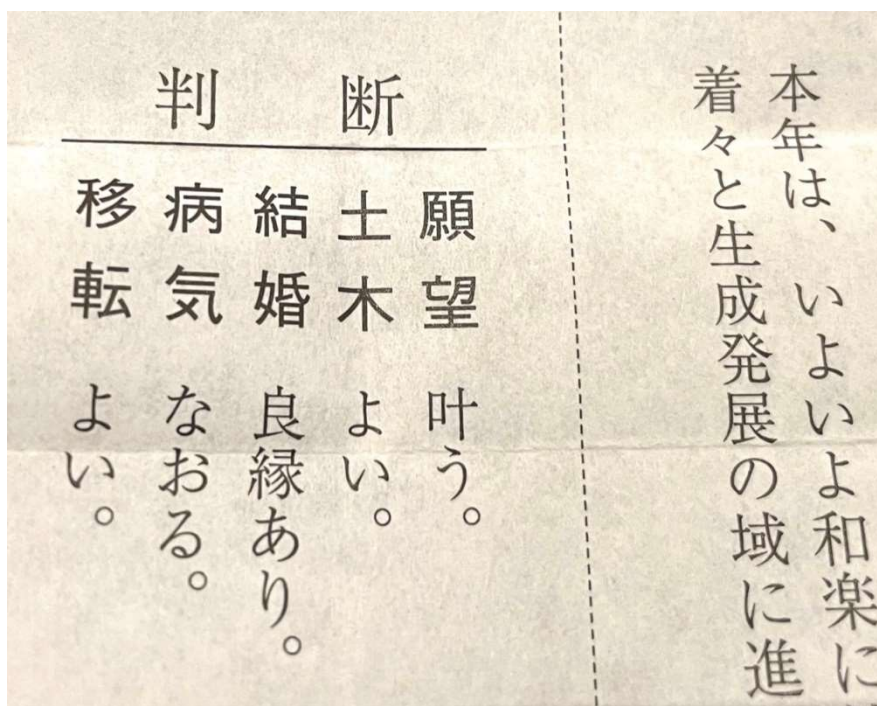


太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2023. 10

良縁あり。



これは2年前の12月、雪が舞う出雲大社で引いた〈おみくじ〉です。

おみくじを引いたのは、もちろん、私ではなく・・・
東京に住む29歳の女性。良縁祈願で出雲大社に初参拝。

もちろん、当時彼氏はいない。引いたおみくじの内容は、いわゆる大吉で
とても嬉しい反面、「本当に叶うのかな？」。
正直、当時は半信半疑でした。

一方、その年の5月、31歳の男性が出雲大社に初参拝していました。



参拝後、ご縁横丁の<月と太陽>さんに出向き、良縁成就できるか否か？
占ってもらったのでした。
ここ<月と太陽>さんには、“出雲の母”として名高い米田佳子先生の
占いを求めて、全国から相談者が訪れます。



「そう遠くない、数年内に相手は現れると出ています」。告げられた。
先の女性と同じく、その占いの結果は嬉しいものの、やはり半信半疑。

しかし、良縁成就できるという
米田先生の占術の結果を信じて

縁（えにし）& 結（ゆい）の前で
記念撮影。

良縁の出会いを信じて、出雲を後にしたのでした。



一方、その年の11月には、私が2度目の出雲大社参拝。



参拝者の少ない、早朝5時半に撮影しました😊

しかも今回は観光ではなく、米田先生の出雲不在中、＜月と太陽＞さんで私が占い鑑定を務めることに！（なんと4日間も！）

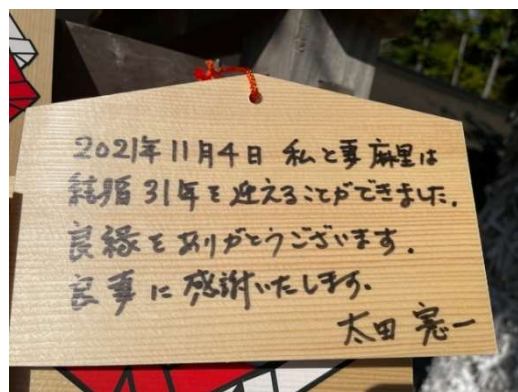


総数42人の占いを敢行。
大半は恋愛相談。次が仕事関係。
健康相談はありませんでした😊

最終日、出雲大社の絵馬に
こんなことを書いて→

＜占い師＞としての経験と
自信も持てて

出雲を後に
したのでした～～😊



その参拝者3人がこの度、めでたく『家族』と相成りました。



我が家の長男が今年9月に結婚した次第です。長男の出雲初参拝は妻も一緒。1年間の間に、4人が出雲大社を参拝していた。

それをただ偶然とするか？ あるいは、必然のご縁だったと考えるか？

さて、今月号で皆さんにお伝えしたいこと、「出雲大社は確かに当たりますよ！良縁ゲットにチョーおすすめですよ！」ではありませんよ(^-^);

どうして2人が<良縁成就>できたのか？

「新しいご縁を得たい、今の人間関係の流れを少しでも変えたい！」

“本気”で出雲大社を訪ね、その“意識”を今日まで失わなかったから。

彼女に改めて当時のおみくじを見せてもらいました。つまり、おみくじを大切に保管して今まで意識付けして来たのです。



その結果、出会ったのが我が家の息子だったわけですが親バカですが・・・
確かに<良縁>と言わせてください😊

健康回復も縁談事も、すぐに結果が欲しいけど、なかなか得られないもの。来る日も来る日も何もないと、やがて「やっぱりダメか」と不信になる。辛く苦しい病気が続くと「やっぱり治らないのかも・・・」と絶望する。

太田東西薬局の漢方を続ける意味は、「自分是可以る！」「自分は健康で長生きできる！」という意識を切らさないためです。

「自分は必ず心身ともに健康になれる！」「自分は必ず幸せになれる！」その前向きな“意識”です。信じる気持ちは、その意識から発生します。

嘘・騙しの多い世の中で、「信じる」ということは、まことに至難ですが「信じる者は救われる」という実話のご紹介でした～～😊